

石峰&抱月のふるさと『地域まるごと博物館』

波佐ネット通信

No. 3 2015.2.20

地域研究センター協議会

【参加団体】

西中国山地民具を守る会
波佐文化協会
能海寛研究会
ほたる湯館G・ゴルフ場

「県民いきいき活動奨励賞」を受賞

能海寛研究会は、2月4日、島根県庁にて、溝口島根知事より「県民いきいき活動奨励賞」を受賞しました。受賞式には、岡崎会長が出席して受賞されました。能海寛研究会20年間の活動が評価されて晴れの受賞となりました。なお、昨年度の西中国山地民具を守る会が受賞に続く快挙となりました。



受賞した「県民いきいき活動奨励賞」



溝口島根県知事と岡崎会長

能海寛研究会20周年記念／第119回定例学習会

1月10日（土）能海寛の母校・東洋大学で開催

20周年記念、第119回定例学習会を1月10日（土）午後1時30分～5時まで東洋大学5号館教室で開催しました。井上円了研究センターを見学しました後、午後2時から開会セレモニーは、岡崎会長の20周年を迎えお礼の挨拶に始まり、「能海寛研究会20年の歩み」をパワーポイントで20年間の歴史を振り返った。

定例学習会は、会員発表など先ず、岡崎秀紀会長より「最近の研究から」、中村 保氏より「最近のチベット情勢から」、飯塚勝重氏より「能海寛と新仏教徒論—渡清日記に見る—」、盛田武士氏は、「四番目の入蔵者—矢島保治郎」、江本嘉伸氏は、「能海寛との関わり」三浦節夫氏は、「井上円了と能海寛の子弟関係」各自20分ずつリレートークで開催した。夕方から会員交流会を開催。翌日は、能海寛縁の地を巡見した。



東洋大学5号館での定例学習会の模様